

広島駅周辺地区まちづくり協議会 2023年度事業計画

(2023年4月1日～2024年3月31日)

広島駅周辺地区まちづくり協議会は、広島陸の玄関である広島駅周辺地区の価値を維持・向上させることを目的とし、2018年5月に発足しました。

当地区においては、2022年8月に「広島JPビルディング」が竣工し、2025年春にはJR西日本による新駅ビルの開業に合わせて、路面電車の新駅ビル2階への乗入れ、広島市によるペDESTリアンデッキの整備が進められるなど、都市再生の動きが加速しています。また、2026年春の開設を目標に広島市立中央図書館等のエールエールA館への移転が決まり、更なる都市機能の集積が期待されています。

こうした動きを踏まえ、2023年度は、引き続き、にぎわいの創出と回遊性の向上を図る仕掛けづくりや、安全で安心して過ごせる環境づくりにつながるエリアマネジメント活動に取り組むとともに、持続的な活動を可能とする安定的な活動財源の確保に取り組めます。

また、2018年に策定した「まちづくりビジョン」の発展的な見直しを行います。

エリアマネジメント活動の展開にあたっては、withコロナ/afterコロナにおける生活様式の変化を踏まえるとともに、未来技術が実装されたデジタル・トランスフォーメーション(DX)や、世界的に推進されるSDGsの視点も含めた、「ニューノーマルなまちづくり」を検討、提案していきます。

当協議会も設立6年目を迎え、エリアマネジメント組織としての始動期から本格活動期へ移行しており、会員事業者等による主体的な運営を目指し、将来の法人化等も視野に入れた中長期的な組織体制のあり方について、引き続き検討を進めます。

さらに、エキキタ地区を含めた広島駅周辺地区全体の活性化を目指し、エキキタまちづくり会議と連携した広域的なエリアマネジメント活動を推進するとともに、紙屋町・八丁堀地区も含めた、広島市の都心全体におけるエリアマネジメント活動の実践体制について検討します。

(1) 2023年度に実施する主な事業

■にぎわいを創出し、回遊性を向上させる仕掛けづくり【にぎわい部会】

○広島駅周辺エリアイベントの実施 にぎわい スポーツ

- ・協議会主催イベントと会員事業者等によるイベント等を組み合わせた「エリアイベント」を開催します。
- ・特に、これまでに実施してきた「EKIMACHI イルミ」については、コンテンツの見直しやエキキタまちづくり会議などとの連携を検討し実施します。
- ・イベントの実施にあたっては、広島駅南口地下広場や川の駅、広島駅コンコース、エキキターレなど、エリア内のイベント会場の連携・活用を検討します。

○水辺空間のにぎわいづくり にぎわい

- ・広島駅周辺地区の水辺空間の包括占有主体として、川の駅や水辺広場(仮称)につ

いて、イベントやフードトラックの出店などへの貸出を行うとともに、主催イベントの実施に取り組みます。

- ・特に、川の駅の有効活用を目指し、2020 年度に整備・購入したソーシャルディスタンスベンチ・ファニチャー類の活用を図るとともに、2021 年度より実施している「RIVER『みんなの』MARKET」を、引き続き、定期的に関催します。

■安全で安心して過ごせる環境づくり【おもてなし部会】

○来訪者への案内機能の強化 **おもてなし**

- ・既存の案内活動への協力として、広島駅構内で外国人に対する案内を行う市民活動「Hello! Hiroshima Project」に対する協賛や相互交流、配布物の制作などの連携に取り組みます。

○公共空間等の環境づくり **おもてなし** **安全・安心**

- ・エリア内における「おもてなし一斉清掃」を継続的に実施します。特に、夏季の川の駅周辺における除草作業については、行政と連携した対策を検討します。
- ・包括占用主体となっている水辺空間について、ライトアップなどの環境整備に取り組みます。

○帰宅困難者一時滞在施設運用のための仕組みづくり **安全・安心**

- ・広島市と連携し、帰宅困難者一時滞在施設の運用マニュアルを作成します。
- ・災害時等における会員事業者間の情報連携の方法や体制について検討し、情報伝達訓練を実施します。

■持続的な活動を可能にする活動財源の確保【運営部会】

○広島駅南口地下広場等エリアマネジメント広告事業の実施

- ・広島駅地下広場等における広告事業の運用を進めながら、地下広場をはじめとする公共空間の利活用検討の中で、新たな広告媒体の開発に取り組みます。

○その他の収入確保策の検討

- ・広島駅南口広場の再整備等により新たに生み出される公共空間を含め、広島駅周辺の公共空間の利活用検討の中で、新たな収益事業について具体的な内容、事業の仕組み等を検討します。
- ・会員数の拡大による会費収入、運営協力金収入などの増加を目指します。
- ・会員数の拡大は、会員種別を活用し、資格要件と権限を総合的に考え、提案していくことを含め、積極的に対応していきます。

■エリアマネジメント活動を支える運営体制づくり【運営部会】

○中長期的な組織体制の検討

- ・協議会会員の立場を考え、将来的な法人化の検討も含め、都市再生推進法人への発展、活用、連携を短、中、長期、それぞれの視点でエリアマネジメント組織体制のあり方を検討します。
- ・「新たな収益事業」で発生する収益にかかる所得税等の納税体制の構築
- ・「法人化」により収益の一部を「経費化」することによる「節税」も検討

○他団体との連携

- ・エキキタまちづくり会議と連携した広域的なエリアマネジメント活動を推進するとともに、広島都心会議、その他のまちづくり団体等と連携した活動についても、具体的な検討と行動をします。また、全国エリアマネジメントネットワークに参画し、他のエリアマネジメント団体との交流や情報交換を実施します。
- ・エリアマネジメントについての会員の理解を醸成するため、勉強会・先進地視察等を実施します。実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症拡大の状況も踏まえ、オンラインの活用も検討します。

○会員獲得を視野に入れたエリアマネジメント活動のPR

- ・地域情報の発信や会員同士の交流など、ホームページのコンテンツ充実（更新頻度を高めること）を図ります。
- ・フェイスブックやインスタグラム等のSNSをはじめとした、多様なメディアを活用した情報発信を継続実施し、協議会によるエリアマネジメント活動のPRを行います。

○エリア内事業者の交流・連携

- ・会員同士の交流を促進するため、情報交流会や施設見学会などの会員交流イベントを本年度も企画、実施します。
- ・エリア内の事業者（飲食、物販、宿泊施設、交通施設など）を支援するため、エリア全体における共同プロモーション・イベント等の活動を企画、実施します。

■広島駅南口再整備と連携した取組の推進【各部会共通】

○公共空間等の活用 にぎわい おもてなし 安全・安心

- ・エリア内の既設および今後整備が予定されている公共空間等について、にぎわいづくりや収益事業への有効な活用方法を検討し、社会実験の実施に取り組みます。

○DX・SXによるまちづくりの推進 にぎわい おもてなし 安全・安心

- ・当協議会における取組の課題解決やエリア内の事業者の相互発展を目指し、デジタルやサステイナブルの視点を踏まえたまちづくりを推進します。
- ・特に、広島駅南口広場の再整備等、周辺既存施設との歩行者ネットワーク整備を踏まえ、DXによる情報連携・発信を図るためのアプリ開発等について検討します。
- ・また、エキキタまちづくり会議と連携し、広島駅周辺の3D都市モデルを活用した取組について、継続検討します。

○まちづくりビジョンの策定

- ・2025年春予定の広島駅南口広場の再整備等の一部整備完了（広島駅新駅ビル完成、広島電鉄路面電車新駅ビルの2階レベルへ高架で進入&駅前大橋ルート新設）を広島駅周辺地区まちづくり協議会だけでなく広島都心の明るい未来として捉え、協議会会員はもちろん多くの方がワクワクするようなビジョンを描きます。